



1 年国語（指導主事訪問）たぬきの糸車

この 18 日に指導主事の先生をお迎えして、1 年国語の研究会を行いました。

「たぬきの糸車」の教材を使い、保育園で紙芝居をすることをこの単元のゴールとして学習が進められていました。登場人物の心の言葉を加えた紙芝居にするために、登場人物の動きや表情などを読み深めながら台詞を考えていかなければなりません。今回は「うれしくてたまらないたぬきは、どんなことをおかみさんにはなしたいのかな？」という課題での授業でした。たぬきの様子を話したり動作化したりしながら、うれしくてたまらないたぬきの台詞を考え、保育園の子どもたちが楽しめるような紙芝居にしようと意欲的に学習に取り組んでいました。

本校ではジグソー学習に取り組んでいますが、1 年生で話し合いの授業を成立させることは容易なことではありません。そこで、1 年生ではジグソー学習への入り口として、ペアで話し合うことを基本とし、それを繰り返してから全体での話し合いをもつようにしていました。お互いの考えを交流することで、自分が考えた台詞をさらに膨らませることができていたように思います。

指導主事の先生からも、落ち着いて学習に取り組んでいることを褒めていただきました。私も、発表する人の方を向いて話を聴くことが次第に身に付いてきていると感じ、4 月からの 1 年生の成長を嬉しく思いました。



きちんと音読しています



真剣な表情で取り組んでいます



たぬきの嬉しい気持ちを動作化



お互いの考えを紹介し合っています



お互いの台詞を褒めあっています



何やら真剣に話し込む二人

